

令和5年度第5回川崎町議会（12月定例会議）一般質問通告一覧表

その1

議員名	件名	要旨
1 政時 喜久美	1. 令和4年度に実施した川崎町地域レジリエンス自立分散型エネルギー設備等導入推進事業について (町長)	① 公文書開示請求書の資料に基づくこと。 ・業者選定等に関する事。 ・契約等に関する事。 ・事業実施体制等に関する事。 ・実績報告書等に関する事。 ・請負代金請求、支払等に関する事。
2 川根 節生	1. ふれあいバスの運行活用について	① ふれあいバス利用者の利用目的の高いものは。 ② 「川崎町地域公共交通計画」のアンケート調査結果は。 ③ 新規のバス停を設置してほしいとの声があるが考えを問う。 ④ 現在のバス停が分かりづらいのでスタンド式のバス停に改善できないか。 ⑤ お得な乗り継ぎ制度の導入はできないか。
	2. ひまわりこども園の開園に向けての進捗状況について	① 開所時間について。 ② 定員数が80人を上回れば受け入れはしないのか。 ③ 教育資格が保育教諭となるが有資格者はいるのか。 ④ 幼稚園教育の定員数が10人とあるが、これは3歳から入学前の園児全員の数なのか。 ⑤ 入園予定者は現在何名ですか。

令和5年度第5回川崎町議会（12月定例会議）一般質問通告一覧表

その2

議員名	件名	要旨
<p>3 手嶋 真由美</p>	<p>1. 健康対策について</p>	<p>① 令和4年に HPV ワクチンの接種が再開、キャッチアップ接種の開始に伴い、自治体によっては郵送通知が実施され、令和5年度からは9価 HPV ワクチンの定期接種追加に際し再度郵送通知もなされたが、本町の対応は。</p> <p>② 令和6年度末、キャッチアップ接種が終了し、対象者が無料で接種する機会を失う。対象者が3回を公費で接種するためには、令和6年9月末までに初回接種が必要。対応策は。</p> <p>③ 男性も HPV ワクチン接種することで、HPV 感染による疾病を予防できるとされている。男性のワクチン接種費用の一部を助成できないか。</p> <p>④ 帯状疱疹ワクチンの接種には、必要とされる2回分で4万円以上かかることから接種をためらう高齢者も多くいます。公費助成についてどう考えますか。</p>
	<p>2. ハラスメント防止対策について</p>	<p>① 自治体や議会などで、ハラスメント防止等に関して条例を制定している自治体があるが、本町での対策は。</p> <p>② 本町でハラスメントに値すると思われる現状があった場合、どのように対応をするのか。</p> <p>③ ハラスメント対応に関しては、相談しやすい環境が大事ですが、相談窓口などを設けているのか。</p>
	<p>3. 不登校対策 COCOLO プランについて</p>	<p>① 不登校児童生徒の学びの場の確保、学びたいと思ったときに学べる環境についての本町の取り組みは。</p> <p>② 教室以外の学習等の成果の適切な評価の実施についての現状は。</p> <p>③ 学校の風土と欠席日数の関連についての認識と本町の現況、学校の見える化への取り組みは。</p>

令和5年度第5回川崎町議会（12月定例会議）一般質問通告一覧表

その3

議員名	件名	要旨
<p>4 寺田 響</p>	<p>1. De・愛移動販売について</p>	<p>現在日本では少子高齢化や過疎化等が進展するなどの社会の変化により、買い物場所や移動手段など日常生活にとって不可欠なコミュニティ機能が弱まっている地域が多くなっています。具体的には、食料品等の日常の買い物を行うことすら困難な状況におかれた高齢者の割合が増加しており、その割合を元に全国の高齢者数を掛け合わせると600万人程度、本町においては400～500人程度の買い物弱者の状態に置かれていると推測されています。</p> <p>本町の支援事業としては、配食サービスやいきいきお出かけサロンなどありますが、以前本町の買い物支援事業においてDe・愛に移動販売車を2台配置しております。移動販売における収支の採算が取れず、現在では休止されていると聞いていましたが、最近移動販売を活発に行っている町へ研修等を行い、再開に向けての協議を行っていると同っています。</p> <p>① 地産地消の効果も見込まれるDe・愛の移動販売に地域おこし協力隊を活用するべきと考えますが本町の今後の方針について伺います</p>
	<p>2. 農業施策について</p>	<p>① 本町で建設予定の道の駅に出荷物(野菜や果物)の需要と供給予測を踏まえ、農業振興策を進めていかなければいけない本町ですが、安真木地区における大ヶ原の遊休農地を活用することが、今後の本町農業政策の柱になると考えています。国や県が進める遊休農地解消緊急対策事業を活用して農業施策を進めることが重要だと考えますが、現在の農業政策の取り組みについての状況をお伺いします。</p>

令和5年度第5回川崎町議会（12月定例会議）一般質問通告一覧表

その4

議員名	件名	要旨
4 寺田 響	3. 環境問題について	<p>① 不法投棄・ごみのポイ捨ては、河川敷や山林、雑草が生い茂っているような人目につきにくい場所や管理が行き届いていない場所がねらわれます。現在ボランティアの皆さんとポイ捨てハザードマップを作っていますが、今後これらの周知、対策をしていきます。今後町には抑制効果の高い監視カメラの設置や看板の設置、子ども達への環境意識向上のための教育が必要となってくると思います。今後の本町の環境問題について町長のお考えをお伺いいたします。</p>
5 千葉 加代子	1. 小中学校等の夏季等の長期休業中の子育て世帯への対応について	<p>① 長期休業中の家庭内の子どもの食の状況、健康状態を町、教育委員会はどのように把握しているのか。課題はあるのか。</p> <p>② 学童クラブでの昼食の提供は。</p> <p>③ 生活困窮者自立支援制度の子どもの学習・生活支援事業の活用は。</p>
	2. 女性支援法について	<p>① 来年4月から施行されるが、都道府県は都道府県基本計画を策定（義務）、市町村は市町村基本計画を策定（努力義務）するよう求められている。本町の取り組みは。</p>
	3. 再犯防止推進計画について	<p>① 本町での推進計画の策定は。</p>

令和5年度第5回川崎町議会（12月定例会議）一般質問通告一覧表

その5

議員名	件名	要旨
<p>6 樋口 秀隆</p>	<p>1. 数年後にオープン予定の「道の駅」は地域活性化の核となる。現時点での進捗状況と方針、具体的企画について問う。</p> <p>2. 昨今の政治や行政の世界で、政治倫理上、行政倫理上などで様々な問題が表面化している。 これから大きなプロジェクトが続くうえで最大限の配慮が必要。</p>	<p>道の駅はこの町の将来像にかかわるシンボルとなり、町の誇りとなり、ふるさと愛に繋げ、町を支える原動力となり、経済、財政、農業振興、商工観光、福祉、教育、児童生徒の学習の支え、文化カルチャー、買い物環境等に深くかかわってくる施設として構築する必要がある。</p> <p>県の入込数予想を算出すると年間 39 万人が見込めるとなる。よってその影響は田川地区のみに留まらない役割使命を果たすという気概を持って臨まなくてはならない。</p> <p>現時点で、パン、音楽、川崎ブランドなどを企画として挙がっていると伝わっているがその詳細として以下を問う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 完成までのタイムテーブル ② 独自性のある企画 ③ SDGs な企画 ④ 若年層、シニア層からの企画参入 ⑤ 女性、ジェンダー層からの企画参入 <p>政治資金の不祥事、首長のパワハラ、モラハラ、セクハラ問題、民間では大麻の事件など人としての倫理にもとる案件が続いている。</p> <p>これから大きなプロジェクトを抱えている本町にとって、まさに大事な時期でもあり重ねて議会としても、行政としても慎まなければならない状況である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 本町の現状をたずねる。

令和5年度第5回川崎町議会（12月定例会議）一般質問通告一覧表

その6

議員名	件名	要旨
7 松岡 久代	1. 不登校の児童、生徒達に川崎町、教育委員会がどのように関わっていくのかを問う。	① 不登校児童 小学校 不登校生徒 中学校 ② 不登校児童、生徒の指導にどのように関わっているのか。 ③ 少子化は避けて通れない。子どもは未来の宝であり財産といわれているが、「ReBorn!KAWASAKIMACHI 人を育み、町を創る。10年先も住み続けたい町へ」の町長の本心をお聞きする。
	2. 川崎町の小、中学校の学習状況を問う。	① 令和4年度全国学力・学習状況調査各教科結果の市町村別の状況を把握しているのかを尋ねる。 ② SDGsの4に「質の高い教育をみんなに」子ども達の願いを川崎町としてどう取り組んでいくのかを問う。
8 山下 美穂	1. 窓口における申請方法について	① 窓口での証明書の請求や住民異動の届出などの際に、記入項目が住所、氏名、生年月日等と多く、高齢者などは苦勞しています。 来庁者が本人確認書類の提示をすれば、必要な証明書や届出内容を聞き取りし、申請書や届出書をパソコンで作成し、最後に本人確認の署名で申請が完了する方法はとれないかお尋ねします。
	2. 日常生活における健康の悩みについて	① 第6次総合計画の人を育む（支える）の基本計画の重点項目で健康の増進の推進があり、町民誰もが生涯にわたって、医療に頼らずに心も体も健康で幸せに過ごせる町（スマートウェルネスシティ：健幸都市）をめざしとありますが、日常生活の中での健康上の悩みについてどのように取り組んでおられるのかお尋ねします。
	3. スマートウェルネスシティを実現するための方策について	① 日常生活における健康の悩みで自分では判断できない、周囲に相談できないものは、病院に行くしかありません。それを解消するために健康講演会や広報紙による周知はできないかお尋ねします。

令和5年度第5回川崎町議会（12月定例会議）一般質問通告一覧表

その7

議員名	件名	要旨
<p>9 櫻井 英夫</p>	<p>1. 川崎町再開発の推進について (町長)</p>	<p>少子高齢化の進展により、最大 43,000 人あった人口は現在 15,000 人台に減少した。一方、福岡県全体では九州雄県として人口増加傾向にあり全体的に活力を維持している。本町も県にあやかって限りない発展を目指す必要がある、そこを踏まえて以下を質問する。</p> <p>① 池尻、田原、川崎、安真木、川崎4地区の均衡ある開発を目指すべきであるが、川崎町の中心川崎地区は再開発が遅れていると感ずる。駅裏、大峰地区の宅地化等を図るべきではないか。</p> <p>② 中学統合により、鷹峰中校舎は遊休財産になっている。先に廃校になった旧大峰小はコミセンと位置付けられたが有名無実状態である。両学校の再開発についての見解は。</p>
	<p>2. 内閣府構造改革特区制度の活用について (町長)</p>	<p>① 平成 14 年度、内閣府所管で規制緩和による地域活性化対策として特区制度がスタートして 20 年が経過。本町では株式会社立通信制高校の誘致に成功している。学校の貢献度は大きいものがある。この制度を再び活用し、例えば De・愛直売所でワイン、焼酎等地元由来の酒類を特産品として販売できるようにしてはどうか。その他特区制度活用策はないか。</p>
	<p>3. 定住に資する教育施策の推進について (教育長)</p>	<p>① 今年は町制 85 周年を祝う年になったが、町制 80 年の時は郷土愛育成プログラム事業として郷土読本「そうなんかわさき」を作成した。どの様に活用されたか5年間の実績と成果を問う。</p> <p>② 令和4年度教育に関する事務の管理及び執行状況点検評価が 7/3 付け提出されている。社高学低の評価になっており、家庭教育への効果的支援が課題となっているが、具体的にはどのような対策を考えているのか。課題と対策について問う。</p>

令和5年度第5回川崎町議会（12月定例会議）一般質問通告一覧表

その8

議員名	件名	要旨
10 杉本 数政	1. 道の駅建設について	① 今現在の道の駅基本構想、基本計画はどうなっているのか。 ② 道の駅全体の規模（大きさ）はどのくらいなのか。 ③ それに伴う用地買収の経過。 ④ 道の駅で販売される物やそこに入る店舗について。 ⑤ 収支の見込みについて。
	2. ハラスメントについて	① 本町のハラスメントに対する取り組みについて。 ② ハラスメントの現状について。